



平成27年度 山県市教育センター要覧

ハリルホジッチ監督は名指揮官かも…

山県市教育センター所長 渡辺千俊



新生ハリル・Japanに期待を込めて、にわかサッカーファンが語ります。去る3月31日、ウズベキスタンとの対戦は、5-1で日本が大勝した。試合後、ハリルホジッチ監督は3点目のゴールについて、報道陣にこう語った。「岡崎は、わざと柴崎に点を取らせた」と。もちろん日本語ではないが。

【事実：見落とした方のための実況】

柴崎がピッチの中央付近から放ったシュートは、飛び出していたゴールキーパー GKの頭上を越え、ゆるい山なりの軌道を描いて、約40m先のゴール目指し、転々と進む。虚を突いたシュートを全速で追うのは、相手ディフェンダー DFと岡崎の二人。ゴール直前でDFは必死のクリアを狙う。そうはさせじと岡崎がブロック。DFが触って入ればオウン・ゴール。岡崎がDFを避けてねじ込めば、もちろん岡崎にゴールが記録される。結局、DFの脚は岡崎の絶妙なブロックに阻まれてわずかにボールに届かず、岡崎もボールに全く触れなかった。ボールはゆっくりゴールに吸い込まれ、DFと岡崎はもつれ合いながら、ゴールの中まで転がり込んだ。
この瞬間、岡崎ではなく、蹴った柴崎の超ロング・シュートが記録された。

【評価：ハリルホジッチ監督の記者会見】

柴崎のゴールもスペクタクルだった。皆さんも気付いたと思うが、岡崎がボールについて行った。(岡崎は得点するチャンスだったが)わざと柴崎に点を取らせた。これは素晴らしく、珍しいことだ。どこにも存在しない。これが一番スペクタクルかも知れない。チームのために彼はああいう行動をしたのだ。

事実をしっかり観るプロの確かな眼。皆を奮い立たせる表現力。そして、いつでも誰に語るかという適時性(興奮さめやらない試合直後のインタビュー)。さらに、岡崎の記録に残らない行為を、チームの目指す姿の象徴として位置付けた。つまり、「チームのために彼はああいう行動をした。」と。

ある新聞記者は、この短く的確なコメントを『岡崎の献身性』という日本人が最も好む表現に吹き替えて記事を配信した。

新監督の評価は、代表選手の心をつかみ、日本人の魂をも酔わせた。

ハリルホジッチ監督は、ユーゴスラビア出身である。ちなみに「ホジッチ」には、『指導者の子孫』という意味があることを、後で知った。

『分かる授業
心にひびく教育』

児童生徒を育てる。
若手を育てる。

1. 学力を付ける授業改善
2. 特色ある学校づくり
3. いじめのない温かな風土づくり

『規律・学力・自己有用感』

～一点突破で
「できた」の積み上げ～

【学力75】
成果を数字で！

平成27年度 山県市教育センター事業

Ⅰ 研修

1 基本研修

	名 称	内 容	対 象	月 日
1	初任者教員研修会	新規採用教員として必要とされる基本的事項の研修を行う。	新規採用教員	5/8 6/3 10/21 1/21
2	2年目研修会	採用2年目の教員が互いの実践を交流したり課題を追求したりすることを通して、一層の資質向上を図る。	採用2年目の教員	(5/26) 10/28
3	2年目・3年目・6年目 合同研修会	教職1校目・2校目の教員が実践交流をし、今後の教員としてのあり方を考える。	採用2年目・3年目 ・6年目の教員	5/26
4	新赴任者研修会	山県市に初めて赴任する教職員が、市全般について学び教育に生かす。	新赴任者	4/3 6/10
5	学習支援員・教育サポーター研修会	具体的な支援のあり方や資質の向上を図る研修をする。	学習支援員 教育サポーター	4/15 10/7 2/4
6	読書指導員研修会	読書指導員としての職務及び読書指導の研修をする。第1回目は図書館担当教員も参加する。	読書指導員 <small>(第1回 図書館担当教員も参加)</small>	6/17 7・8/ 2/18
7	講師研修会	児童生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識や技能を習得する。	講師	7/24 (随時)
8	剣道実技講習会	武道(剣道)指導の基礎と実技を学ぶ。	中学校体育科指導教員等	8/7
9	教科・各種研修会	各教科、道徳、特別活動、特別支援教育等の授業研究などの研修をする。	全教職員	4/22 6/29 8/18 (8/24) 10/27 2/25
10	学校人権教育研修会	一人ひとりの人権が尊重される学校を目指して、人権感覚の醸成を図る研修をする。	全教職員	8/24
11	特別支援コーディネーター研修会	特別支援コーディネーターの資質の向上を図る研修をする。	特別支援 コーディネーター	6/16 2/12
12	服務研修	教育公務員としての 服務における課題について研修する。	全教職員	教職員研修会 随時
13	給食調理員研修会	食調理員としての資質や技能の向上を図る研修をする。	給食調理員	4/3 8/17

2 自己啓発研修

	名 称	内 容	対 象	月 日
21	夏期講座 『つなぎ塾』	今日的な課題を解決する知識や技能を身に付け指導力を高める。	教職員希望者	7/31 8/5 8/6
22	学校管理運営 研修会	学校管理運営や管理職のあり方等について研修する。	リーダー的立場の 教員	10/29

	名 称	内 容	対象	月 日
23	学校づくり コンサルタント	学校が希望する指導者を講師として招き、学校経営の助言を受ける。	各校管理職	希望日
24	サークル研修会	年間にわたって、教科等の指導力を高める。	教職員希望者	随時
25	ネットワーク研修会	テラステーションを活用し、研究の情報や内容を交流・共有し、研修を深める。	教職員	随時



調査・研究

	名 称	内 容	対象	月 日
31	つなぎ塾 (教科等指導員)	校内研究等で指導・助言にあたる。夏期講習においては、教科等の講師となる。	指導員	夏休み他随時
32	つなぎ塾 (専門分野等指導員)	市内教職員のニーズに応じて、得意とする内容や技術を伝授する。	指導員	夏休み他随時
33	教育の進化を求めて (教育懇談会)	市の学校教育に関する幅広い意見や提言をいただく。	市民代表	11/
34	スタートカリキュラム研究会 (幼保小の連携を求めて)	小学1年生が無理なく安心して学校生活をスタートできる具体的な指導法を集積していく。 <u>1学期に小学校1年生担任全員の会を開催</u>	研究員 <small>(第2回より学校 1年生担任も参加)</small>	4/23 5/15 2/9
35	小中連携研究会	小中学校で取り組む指導内容を相互に理解し、充実する。	教職員	随 時
36	教育実践論文・実践 記録・自作教具	教育研究実践論文・実践記録・自作教具の募集を行い、主体的な研究実践の奨励をする。	教職員	1/15 (1・2次審査)
37	基礎学力定着研究会	各校の学力定着等の取り組み状況の交流・検討を通して、基礎学力の向上を図る。	学力向上推進教師	4/23 教務主任会
38	情報教育推進委員会	情報教育の推進及び充実により、教育情報の有効な活用や教育活動の質的改善を図る。	推進委員	5/8 2/
39	社会科副教材 作成委員会	ふるさと教育や授業に資するよう教科書の内容にあわせ、市の文化・自然・社会の教材を図る。	作成委員	5/20 8/27 11/4 2/4



情報収集・発信

41	教育センター要覧の発行	センター事業の方針や内容
42	図書、月刊誌、研修冊子、指導案	センター図書として蔵書
43	テラステーション	市教研、校内研の授業案、社会科副教材等のデータ
44	教育センターだより「いしずえ」	センター関連記事の掲載
45	なんでも相談コーナー	教育関連の相談事
46	図書貸出	各学校で共通活用できる図書の貸出



教育相談

1 適応指導

趣旨 不登校の児童生徒に対し指導・援助を行い、自立を支援することによって、学校生活への復帰を図る。

① 生活指導員による支援

教室 コスモス教室 山県市教育センター内 TEL：52-1007

日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後3時30分（基本）

② 教育相談員による支援

各学校の実態に応じ教育相談員を派遣し教育支援を行う。

2 電話相談

趣旨 学校教育にかかわる不安や悩みなどの相談に対応し、適切な支援を行う。

窓口 教育センター コスモス TEL：52-1571

日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後3時30分

3 教育相談研修会

趣旨 不登校の児童生徒の自立を支援するために、関係者が連携を密にして、よりよい指導・援助の充実を目指す。

研修会

51 ●生活相談員・教育相談員研修会 12回(毎月1回)

52 ●生活相談員・教育相談員・学校教育相談担当者研修会 3回(4/21 9/29 1/28)



児童生徒対象

	名 称	内 容	月 日
61	夏休み作品相談	電話で相談を受け付け、専門教諭が助言にあたることによって作品の向上を目指す。	夏季休業中
62	夏休み作品展 夏休み作品表彰式	優れた作品の表彰を行うと共に作品展を行い、教科学習の促進を図る。	9/12～14 表彰式9/12
63	夏休み作品づくり	楽しい作品を作る。	夏季休業中
64	小学校陸上記録会	陸上競技への関心と記録向上への意欲を高める。	10/10
65	小中音楽会	音楽表現を聴き合うことを通して、音楽活動への意欲を高める。	11/6
66	こどもの市展	作品のもつよさや美しさにふれ、表現意欲を高める。	11/20～25
67	山びこ	体験したことや考えたことなどを書き表し、伝える力を身に付ける。	随時



共通物品

教材教具	和太鼓（8台）
教育機器	大型インクジェットプリンター「カラー A1ノビ」（1台） ノートパソコン プロジェクター スクリーン
諸検査用具	WISC-III・IV知能検査器具 WISC-III・IV知能検査記録紙 グッドイナフテスト 箱庭療法用具 S-M社会生活能力検査用紙
VTR DVD	●人権教育・・・「歌いたい歌がある」「ラストから始まる」 ●薬物乱用防止教育・・・「DRUG」「薬物乱用教育」 ●学校給食衛生管理・・・「ドライ運用の鍵は人」 ●家庭教育・・・「すばらしき思春期」 「ゆっくり、ゆったり」 「子どもとしつけ」 「頑張れ、お父さん」 「家庭教育手帳」 「家庭教育ノート」 「ママとパパに贈るメッセージ」 「子どもの声に耳をすませて」 「地域こぞって子育てを」 など
教科用図書	小中学校の検定教科書（各社）
児童用図書	大型絵本など
ゲームなど	屋内用ペタンク グランドゴルフ もちつき用具（臼、杵） 焼き杉用具 大鍋 ペタンク キャンドルサービス用具 など

センター職員

所長（学校教育課長）	渡辺 千俊
次長	山田 光昭
主任教育相談員	土田 千隆
主任学習支援員	戸崎 徳子
嘱託	梅田 修一
主幹（学校教育課）	日置 智夫
課長補佐（学校教育課）	川島 誠
係長（学校教育課）	横山 直美
主幹（生涯学習課）	安川 英明
主任（生涯学習課）	白井 規浩

教育相談員（中学校『教育相談室』）

井藤 康子 鷺見 顕 林 和子

生活相談員（適応指導教室『コスモス』）

大西 博之 岩間 伸浩 村橋 一成 村瀬 文

沿革

平成15年度
平成16年度

- 山県市教育センター設置
 - センター次長配置
 - 相談員と学校担当者の合同連携研修会発足
 - 山県市生涯学習リーダー登録者名簿発刊
 - センター広報誌『いしずえ』初版発行
- 平成17年度
平成19年度
平成20年度
平成21年度
平成22年度
- 新規15事業開設
 - 事業の整理統合、新規2事業（学校教育）
 - 事業の整理統合、新規7事業（教職員研修）
 - 学校地域支援本部との連携
 - センター移転（旧富波小へ）
 - 適応指導教室『コスモス』統合
 - 大研修室にエアコン設置
- 平成23年度
- 主任教育相談員、主任学習支援員配置
 - 2階研修室にエアコン設置

山県市教育センター

〒501-2257 岐阜県山県市富永495番地
TEL. 0581-52-1007
FAX. 0581-51-0030
E-mail. k-center@yamagata-gifu.ed.jp

